

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月23日(2021.12.23)

【公開番号】特開2020-120819(P2020-120819A)

【公開日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2020-032

【出願番号】特願2019-13527(P2019-13527)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月15日(2021.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかし、従来の遊技機では、所定回路が誤動作する可能性があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、遊技領域が区画形成される遊技盤を備え、ゲームを実行な遊技機において、前記遊技盤は、所定回路をリセットするリセット信号を送信可能なりセ~~ト信号パターン~~と、所定回路の動作を可能とするイネーブル信号を送信可能なイネーブル信号パターンと、を有する基板を備え、前記基板において、前記イネーブル信号パターンは複数の接地パターンに挟まれて配置された。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が区画形成される遊技盤を備え、ゲームを実行な遊技機において、

前記遊技盤は、

所定回路をリセットするリセット信号を送信可能なりセ~~ト信号パターン~~と、所定回路

の動作を可能とするイネーブル信号を送信可能なイネーブル信号パターンと、を有する基板を備え、

前記基板において、前記イネーブル信号パターンは複数の接地パターンに挟まれて配置されたことを特徴とする遊技機。